



全国大会出場の飯山のスキー選手の皆さん

■第65回国民体育大会冬季大会スキー競技会

清水寛仁さん（クロスカントリー成年男子C、外様）
山室 忠さん（クロスカントリー成年男子B、柳原）
野口鷹莉さん（クロスカントリー成年女子B、太田）
岡田瑞生さん（クロスカントリー少年男子、木島）
半藤成実さん（クロスカントリー少年女子、木島）
小泉 敦さん（スペシャルジャンプ成年B、飯山）
作山憲斗さん（スペシャルジャンプ成年A、飯山）

■第59回全国高校総体【飯山市出身者のみ掲載】

木原 勇さん（スラローム、飯山北高・飯山）
松澤祐介さん（クロスカントリーリレー、飯山北高・秋津）
原 大貴さん（クロスカントリーリレー、飯山北高・飯山）
平野和貴さん（クロスカントリー
クラシカル・フリー・リレー、飯山北高・常盤）
栗林円らさん（クロスカントリーリレー、飯山北高・太田）
丸山咲瑛さん（クロスカントリーリレー、飯山北高・木島）
平井雅也さん（クロスカントリー
クラシカル・リレー、飯山高校・木島）
市村耕太郎さん（クロスカントリーリレー、飯山高校・岡山）
岡田瑞生さん（クロスカントリー
クラシカル・リレー、飯山高校・木島）

半藤成実さん（クロスカントリーリレー、飯山高校・木島）

■第47回全国中学校スキー大会

大葉大輔さん（アルペン スラローム、第一中学校・飯山）
大平将吾さん（クロスカントリークラシカル、第二中学校・瑞穂）
栗田 渚さん（クロスカントリー
クラシカル・フリー・リレー、第一中学校・飯山）
阿部杏子さん（クロスカントリー
クラシカル・フリー・リレー、第二中学校・木島）
青木愛莉さん（クロスカントリー
クラシカル・フリー、第三中学校・太田）



⑤市役所を訪れ全中出場に向けた決意を石田市長に語った選手（前列左から大葉選手、大平選手、後列左から栗田選手、阿部選手、青木選手）



△飯山市は数多くの大会を経験し培った大会運営も評価されています。（写真は平成13年「ながの飯山国体」）

たまにはクロスカントリーに挑戦しませんか？ 「長峰クロスカントリースキーコース」

長峰多目的グラウンドにクロスカントリースキーコースがあるのをご存知ですか。利用は無料で、毎日朝9時から利用できます



ので、ぜひご家族でご利用ください。

●**利用方法**…コース入口のインフォメーションセンター受付簿に記入のうえご利用できます。（利用は無料です）

●**ご注意**…みんなで使用する施設です。安全に注意しマナーを守ってご利用ください。

※毎週水曜・木曜・金曜はナイター照明を点灯し午後8時まで利用できます。

※スキーを貸し出すこともできます。詳しくはインフォメーションセンター係員にお尋ねください。

インタビュー



インサイドアウトスキークラブ
斉藤 亮さん 山室 忠さん

私たちが法人として活動を始めて2年。クラブ知名度も徐々に高まり、年々、活動も

活発になってきました。小学生へのスキー指導も行っていますが、この子どもたちの中からオリンピックを目指す選手が1人でも多く出てきてくれればと思っています。大人も「ノルディックウオーキング」を楽しむ方は飯山にも増えてきたので、冬はぜひクロスカントリースキーにも挑戦してもらえればと思います。また新たに考案したエクササイズ「ノルディックダンス」も体験してほしいですね。随時、クラブ会員を募集しています。私たちと一緒にスキーやアウトドアスポーツを楽しみましょう！

かしたスポーツの魅力を、飯山をはじめ広い地域に発信しています。

来冬は飯山が 県スキー大会週間の舞台に

来年1月には、平成13年以来となる「県スキー大会週間」が飯山市で行われます。飯山の選手たちにとっては滑り慣れた会場で競技することができ、チャンス、ジュニア選手にとっても県内トップクラスの選手たちの滑りを見ることができ、貴重な機会となります。また観光面の経済効果も期待できます。

ぜひ市民全体で県下から集まる選手を温かく迎え、「長野県スキー発祥の地」に恥じない素晴らしい大会となるよう、大会を盛り上げたいものです。



△「市民スキーフェスティバル」では仮装して楽しく参加する姿も。（昨年の様子）

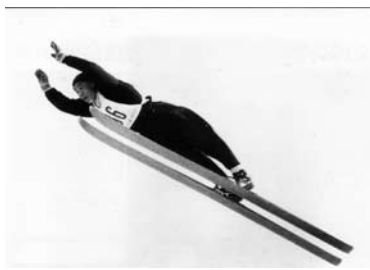
バル」、「ナイタースプリントレース」、「小学生スノーボード教室」など、競技スキーだけでなく、普段あまりスキーを履かない人にもススキーに興味を持ち、楽しんでもらおうという新しい取

り組みも始まっています。

また、スキー学校の運営など、市の基幹産業である冬の観光における役割も大きいといえます。

飯山伝統のジャンプ競技 未来担う小学生ジャンパー

選手が減少傾向にあるスキー競技の中でも、特に選手が減っているのがジャンプ競技。2度のオリンピックに出場した江遠要甫選手や、山田大起選手、竹内択選手と飯山のジャンプ台からは多くのジャンパーをオリンピックに送り出して



△飯山市出身で初めてオリンピックに出場した江遠選手のジャンプ。

きました。ジュニア選手は現在、小学生2人、中学生0人という状況です。またジャンプ台の老朽化や管理の効率化を図るため、選手の練習は夏は飯山ジャンプツェ、冬は木島平ジャンプ競技場で行っています。

しかしジュニア選手は、少人数でもコーチと二人三脚で毎週末練習を重ね、オリンピックを目指し頑張っています。また市やスキークラブでは、「小学生ミニジャンプ大会」を開催するなどして、小学生にジャンプの楽しさを知ってもらい、ジャンプ人口の増加のための取り組みも行っています。

飯山のスキーを支える 市民の皆さん

市民レベルでもスキーを愛する皆さんが飯山には多

飯山のジャンプ大会を支える

『飯山ジャンプ甲斐』の活動

市営飯山ジャンプツェで行われる大会で、飛距離判定員として長年、ジャンプ大会を支えている「飯山ジャンプ甲斐」の皆さん。それまでも飛距離判定員として大会に参加していた市体育協会のメンバーで、約20年ほど前に会として結成したそうです。

会長の宮崎正さんは「冬は寒い中、夏のサマージャンプは炎天下の環境での任務。また選手たちの成績に直接かわり緊張感のある大変な任務

くいます。市民有志の方々

からなる「飯山ジャンプ甲斐」の皆さんは飯山で開催するジャンプ大会で飛距離判定を長年にわたり担当。大会運営のみならず、地元



△インサイドアウトスキークラブが1月に行った6時間耐久レース「飯山エンデューロ」。



△正確な判定のため、競技中は緊張の連続という飛距離判定員の任務。

だが、飯山の選手が活躍してくれると本当にうれしい。特に平成13年の「ながの飯山国体」で当時高校生の山田大起選手が優勝したときが思い出深いなあ」と話します。

現在のメンバーは17人。これからも飛距離判定の「職人」として大会運営を支えていきます。

える大きな存在といえます。また飯山や木島平村出身のメンバーを中心に、平成20年にNPO法人として本格的に活動を開始した「インサイドアウトスキークラブ」は、クロスカントリースキーをはじめとしたアウトドアスポーツを、この地域の地形を生かしながら楽しむことを提案。夏は競技選手向けのトレーニングキャンプ、冬は初心者向けのスキー講習会を開催しているほか、他の団体とも連携しながらノルディックウオーキングイベントを行うなど、地域の自然を生